

1 認定こども園斜里大谷幼稚園の教育目標

- |  |
|--|
| 1 おおたにの子は、いのちを大切にします<br>2 おおたにの子は、素直にありがとうをいいます<br>3 おおたにの子は、みんななかよく頑張ります。 |
|--|

2 本年度の重点目標

- |  |
|--|
| 幼保連携型認定こども園の教育・保育要領の改訂にともない、2点を重点課題としました。<br>①「全体の課題から、一人ひとりの特性や発達の課題にそくした指導を行う」ということから、一斉保育から一人ひとりに合わせた保育の実践に取り組む。<br>②「園児の主体的な活動が確保されるよう、園児一人ひとりの行動の理解と予測に基づき、計画的に環境を構成しなければならない。」ということで、環境設定保育に取り組む |
|--|

3 評価項目に対する自己評価

①保育の計画性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の教育理念と教育方針の理解</li> <li>・教育保育指導要領の理解</li> <li>・教育課程の編成</li> <li>・環境の構成</li> <li>・保育と計画の評価と反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト保育の内容を理解できた。計画的に進められず、バタバタしてしまうこともあった。これから経験を重ねていくことで、よりうまく行えると感じた。</li> <li>・準備に関しては、前年度からの引継ぎのものもあり、慌てることなく行うことができた。教室レイアウトの写真を撮っておくと良いと感じた。</li> <li>・行事とプロジェクトの同時進行が難しかった。計画的に行っていく。</li> </ul>
②保育の在り方、乳幼児への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康と安全の配慮</li> <li>・幼児の見取りと理解</li> <li>・指導とかかわり</li> <li>・保育者同士の協力と連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検温表などを用いて、毎日の体調管理を欠かさなかった。体調の変化に留意し、必要に応じて検温、お迎えの要請を行っていった。</li> <li>・嘔吐や体調不良の時の電話連絡の対応について、全職員で確認・共有していくようにする。</li> <li>・前年度からの引継ぎについて、不十分な点があった。ミマモリングの備考欄を活用し、十分に理解ができるようにしていく。</li> <li>・配慮の必要な子の対応について、職員間での共有が必要な場面があった。昨年同様書面の作成、周知に努めていきたい。</li> </ul>

<p>③保育者としての資質や能力・適正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家としての能力・良識・義務</li> <li>・組織の一員としての在り方</li> <li>・保育の楽しみ・喜び</li> <li>・周りを感じ取れるアンテナ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務に追われながらも、子どもたちの成長を感じながら楽しく過ごすことができた。</li> <li>・新任の職員は、一年間の行事を理解・把握しながらの業務は大変だった。見通しを持って行っていきたい。</li> <li>・クラス運営は客観視しにくい、保護者の方の協力や励ましをいただき、充実したものになった。</li> </ul>
<p>④保護者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の発信と受信</li> <li>・協力と支援</li> <li>・守秘義務の遵守</li> <li>・対応上のマナー・良識</li> <li>・クレームへの対応の仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガや喧嘩などについて、保護者への伝え方が難しく感じた。</li> <li>・感染症対策として、家族・兄弟児が体調不良の際は、なるべく休んでいただくよう。協力をお願いした。</li> <li>・昨年に引き続き、感染症対策のため、保護者との送迎時の対話を控えていた分、情報の発信についてはブログ等で伝えていった。</li> <li>・園だよりの内容を把握し、質問された際にすぐに答えられるようにしておくべきだった。</li> <li>・家庭との面談を実施し、必要に応じて通園センターにつなげることができた。</li> </ul>
<p>⑤地域の自然や社会とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然と人々とのかかわり</li> <li>・小学校との連携</li> <li>・地域への開放と支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災予防パレードに参加し、地域の方とのかかわりを持つことができた。</li> <li>・小学校との連携の面では、一人一人の引継ぎを深くできなかった。全体の引継ぎのほかに別の日程を組むことを検討していきたい。</li> <li>・コロナウイルスによる規制が緩和されてきたら、もっと地域との交流を行っていきたい。</li> </ul>
<p>⑥研修と研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修研究への意欲と態度</li> <li>・教師としての専門性の向上</li> <li>・遊具教材に関する研修研究</li> <li>・園内環境に関する研修研究</li> <li>・今日的課題に関する研修研究</li> <li>・自らを高めるための学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修の該当者は個別に研修を受けることができていた。しかし、その内容について情報共有する機会を設けられなかった。</li> </ul>

#### 4 次年度以降に取り組む課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい職員が入ってきた際に、決まり等の情報共有をしっかりと行っていきたい。</li> <li>・プロジェクトの動画を記録として撮り、次年度につながる保育をしていきたい。</li> </ul>
---